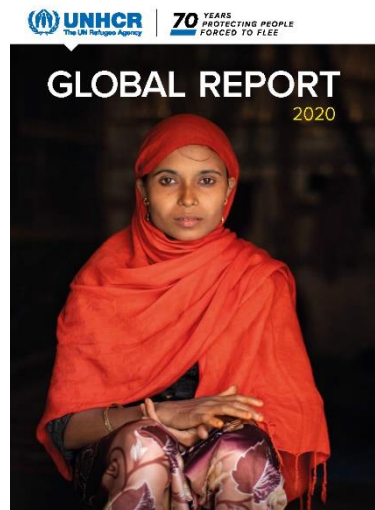




親愛なるゾンシヤンの皆様、

2022年の国際大会開催地であるドイツのハンブルグを訪れ、地元のゾンシヤンとお会いし、素晴らしい成功を収めた後は、やはり家に戻るのが一番です。よく言われるように、「我が家にまさるところなし」です。しかし、世界各地で強制移動を経験している何百万人もの女性にとっては、彼女たちは同じことを言うことはできません。昨年は、世界的なパンデミック、政府の不安定さ、気候災害などの複合的な要因により、世界中の家族にとっての伝統的な安全な場所である「家」の感覚が大きく変化していることを示しました。



[国連難民高等弁務官事務所 \(UNHCR\) が発表したグローバル・トレンド報告書\(上\)](#)によると、2020年には前年比 1,120 万人増の **8,240 万**人が故郷を追われました。そのうち、約 49%が女性で、42%が子どもです。また、UNHCR は、その半数以上の 4,800 万人が自国内で強制移動させられていると報告しています。この数字を具体的に言いますと、インドではデリーとムンバイの全住民、中国では上海と北京の全住民、米国では人口の多い 50 都市の全住民が家を失っていることとなります。

強制移動の結果は、家やシェルターを失った人々にとどまりません。ただ生き延びるために、家族は子供の結婚を認めるという考えられないことをしています。女性は他国で仕事をし、ほとんど何の権利もないまま人身売買される危険性があります。少女たちは、学校から離れた場所に移動したり、危険すぎて移動できなかつたりするため、教育を受けることができません。

悲しいことに、これらの問題は、決して消え去りませんが、私達も消え去ることはありません。私たちはゾンシャンとして共に立ち上がり、すべての女性のために強くあり続けます。私たちの声を集約することで、より大きな力となります。絶望的な状況だと感じるかもしれませんが、私たちは変化を起こすことができます。その一例が、現在進行中のアフガニスタンでの危機です。より大きな力を発揮するためにできる最初のステップは、我々が[国連人権理事会に提出した共同声明](#)をアドボケイトし、共有することです。もうひとつのステップは、対応するためのツールを持っているあなたの国の機関に連絡することです。アフガンやハイチの女性たちを支援するために、会員がすでに取った敏速な行動を以下にご紹介します。また、[人身売買に関する声明:人権問題](#)を読んでください。

皆様の国際会長を務められることを常に誇りに思っています。世界のために良いことをして下さり、本当に変化をもたらして下さり感謝しています。

敬具、



シャロン・ランゲンベック博士
国際会長



ゾンタニュースの翻訳済みテキストを読むには、[ここをクリックしてください](#)。

児童婚のリスクの増加

紛争、自然災害、強制移動は、世界各地で何百万人もの人々に影響を与えています。これらの危機は、有害なジェンダー規範、貧困、教育や性と生殖に関するヘルスケアなどの基本的なサービスへのアクセスなど、不平等を悪化させています。また、少女たちは児童婚のリスクにさらされています。



危機的状況下での児童婚を促すものは何でしょうか？

- 児童婚は貧困から抜け出す手段と考えられています。
- 児童婚は少女を暴力から守るための手段と考えられています。
- 児童婚は戦争の武器として使われています。
- 児童婚は気候変動や異常事象の影響を受けやすい国で増加します。
- 児童婚は、COVID-19 のような病気の流行の間接的な影響を受けます。

[Girls Not Brides の報告書では、人道的状況下での児童婚と、世界各地の解決策について詳しくここに説明しています。](#)

Donate

上のボタンをクリックすると、「児童婚を終わらせる」プログラムを支援するための国際奉仕基金に寄付することができます。

強制移住者を支援するための奉仕とアドボカシー活動

1923 年に**最初の国際奉仕プロジェクト**がスタートし、会員が 11 万 5 千人の孤児を支援し、トルコの女性のための自立支援の機会を提供する活動を行って以来、ゾンタは強制移住者の影響を目の当たりにし、私たちの集団活動がどのように状況を改善することができるかを実感してきました。クラブと会員は、私たちの影響力をさらに高めるために、地域レベルでのアドボカシー活動

や奉仕活動に励んでいます。以下は、強制移住者を支援するためにクラブと会員が取り組んだ素晴らしい活動のほんの一例です。



サンレーモのゾンシャンがアフガニスタンからの難民を支援する

8月23日、サンレーモ市は「花と歌の町」から「団結の町」へとなり、アフガニスタンからの政治難民350人以上を迎え入れました。ほとんどの人が荷物を持たず、裸足で来た者もあり、半数は未成年者でした。

最初の1週間、サンレーモ・ゾンタクラブ(イタリア)のチンツィア・パペッティ会長とクラブ会員のロレーナ・グロッシは、イタリア赤十字社と協力して、衣類や薬など難民に必要なものを寄付するよう、地域やメディアに呼びかけました。数日後、赤十字社本部には数百件の寄付が寄せられました。

チンツィアとロレーナは、日が経つにつれ、難民の女性たちとの絆を深め、いかに突然に人生の転機が訪れるかを実感しました。彼女たちは、医師、弁護士、エンジニアなど、将来を嘱望されていました。彼女たちは迫害を恐れて、夢も生活も愛する人も捨てなければなりません。彼女たちが犯したとされる唯一の罪は、教育を受けた強い女性であることでした。

[クラブが出会った女性達についてはこちらをご覧ください。](#)

ロングアイランド・ゾンタクラブがハイチに 救援物資を送る

2021年8月、ニューヨーク州ロングアイランド・ゾンタクラブは、ハイチにミッションを持つ「Daughters of Wisdom」に多額の寄付をしました。この寄付金は、最近の地震やハリケーンで壊滅的な被害を受けた地域の女性たちを支援し、奉仕やアドボカシーを通じて女性のエンパワーメントに役立てられます。



最近発表した人身売買・人権問題に関する声明では、国際ゾンタは、(国内または国境を越えた)あらゆる形態の女性や少女の人身売買を抑制し、女性や少女の搾取を防止するために、法律を含むあらゆる適切な措置を講じることを求めています。

声明の全文を読むにはこちらから: www.zonta.org/statements.



ストーリーを共有する

すべてのクラブには、語るべき物語があります。奉仕活動やアドボカシー活動を通して、私たちが日常生活の中でどのように使命を果たしているかを示してくれます。[あなたの物語を共有しましょう！](#)

「ゾンタとは？」

貴方の答えをエレベーター・スピーチ・ピッチ・キャンペーンで共有しませんか。詳細については、[エレベーター・スピーチピッチ](#)でご覧いただけます。提出期限は10月8日です。

素晴らしい女性の Powerful なストーリー

今月はグリーンランド出身の微生物学者であり、討論者のアヴィアヤ・L・ハウプトマン博士が Powerful なストーリーを語ってくれました。[アヴィアヤの話はこちらから](#)、次回のゲスト、ヘレン・クラーク氏の話聞くには[こちらから登録して下さい](#)。



www.zonta.org

ソーシャルメディアを通じて国際ゾンタの使命や活動を広めてください。

